

家庭ごみ有料化中間答申に関する意見報告

1. 概要

大分市では、平成 24 年 5 月に提出された「家庭ごみ有料化」中間答申について、市民の皆さんのご意見をお伺いするため、平成 24 年 7 月 28 日から 9 月 9 日まで「家庭ごみ有料化中間答申に関する市民説明会」を市内の 52 ヶ所で行い、2,353 人の方にご参加いただきました。

また、平成 24 年 8 月 1 日から 8 月 31 日の間に行いましたパブリックコメントでは、18 件のご意見が寄せられました。

◆市民説明会(7/28~9/9)		◆パブリックコメント(8/1~8/31)	
実施数	52 会場	意見総数	18 件
参加者	2,353 人	・電子申請	(6 件)
質疑	1,141 件	・メール	(3 件)
アンケート	1,542 枚	・Fax	(2 件)
	(回収率 65.5%)	・郵送・窓口	(7 件)

2. 意見内容

(1)市民説明会

市民説明会では、賛成や反対のほかに、有料化を実施する前に市が取り組むべき事といった「意見」や「要望」、有料化制度に関する質問など 1,141 件のご意見をいただきました。

市民説明会によりいただいたご意見は、暫定的に以下の 8 種類に分類をしています。

意見	要望	その他	意見や要望を含む					合計
			市の取組み	金額	不法投棄	ルール違反	ボランティア	
234	76	431	158	98	72	47	25	1,141 件

※主な意見は別紙①のとおり

(2)パブリックコメント

パブリックコメントによりいただいた 18 件のご意見は、内容により細分化した結果、暫定的に以下のとおり分類をしています。

意見	要望	その他	意見や要望を含む					合計
			市の取組み	金額	不法投棄	ルール違反	ボランティア	
37	5	2	15	7	4	3	2	75 件

(3)その他

①自治委員説明会

市民説明会を実施するにあたり、事前に自治委員に対する説明会を実施しました。
自治委員説明会によりいただいたご意見は、暫定的に以下のとおり分類をしています。

意見	要望	その他	意見や要望を含む					合計
			市の取組み	金額	不法投棄	ルール違反	ボランティア	
82	32	145	40	26	33	26	10	394件

②まちづくり出張教室

大分市では、市が進める各種事業や施策の説明、市民自らによる地域づくり運動の先進事例の紹介などを行う「まちづくり出張教室」を実施しています。

市民説明会と同時期に9団体から「家庭ごみ有料化中間答申」についての講座申込みがあり、406名の方にご参加いただきました。

まちづくり出張教室によりいただいたご意見は、暫定的に以下のとおり分類をしています。

意見	要望	その他	意見や要望を含む					合計
			市の取組み	金額	不法投棄	ルール違反	ボランティア	
27	10	82	12	19	14	12	4	180件

3. アンケート結果

市民説明会やまちづくり出張教室では、家庭ごみ有料化中間答申において、今後検討を要する事項についてのアンケートを実施しました。

アンケートの自由記述欄にて寄せられたご意見につきましては、内容により細分化した結果、暫定的に以下のとおり分類をしています。

○市民説明会

意見	要望	その他	意見や要望を含む					合計
			市の取組み	金額	不法投棄	ルール違反	ボランティア	
342	96	105	198	130	91	52	20	1,034件

○まちづくり出張教室

意見	要望	その他	意見や要望を含む					合計
			市の取組み	金額	不法投棄	ルール違反	ボランティア	
51	18	14	15	21	6	8	2	135件

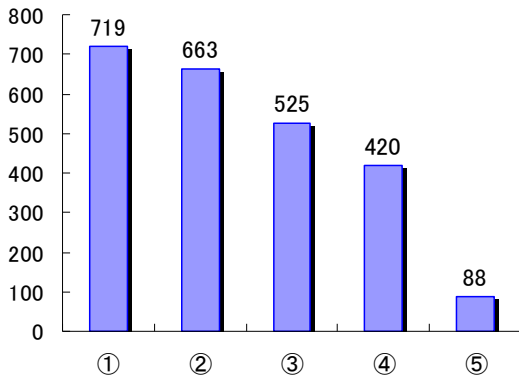
○アンケート集計結果

	市民説明会	まちづくり出張教室
参加者数	2,353人	406人
回収数	1,542枚	227枚
回収率	65.5%	55.9%

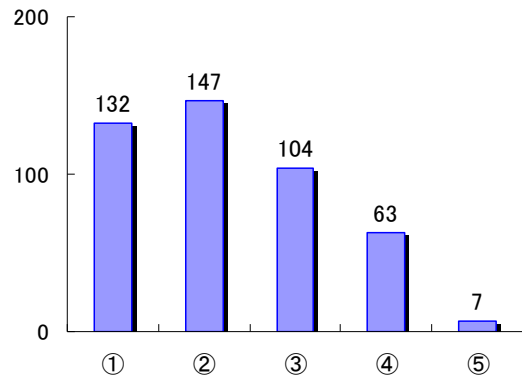
設問1 対象となるごみについて

家庭ごみ有料化の対象外とするごみは資源物のほかに何が必要だと思いますか。

(市民説明会)



(まちづくり出張教室)



【凡例】 ①ボランティアごみ ②剪定枝 ③落ち葉 ④おむつ ⑤その他

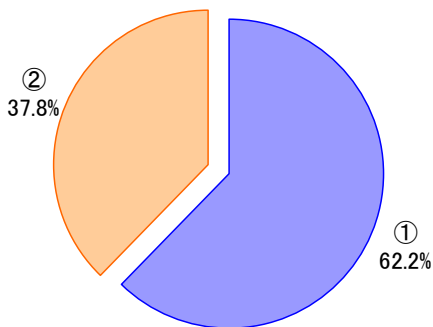
(⑤その他の主な意見)

行事等によって出たごみ、ペットの砂や汚物、子どものごみ、ルール違反や不法投棄されたごみ、草意識を持たせるためには全部有料にした方がよい、おむつは子ども手当があるので良いのでは

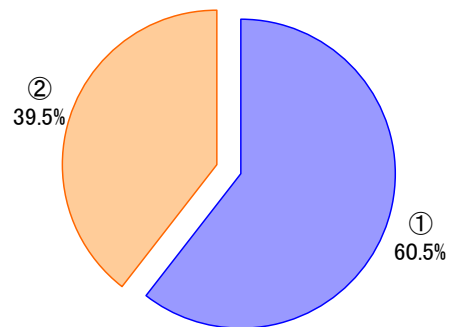
設問2 ごみ袋(大袋)のサイズに関すること(複数回答有)

大袋のサイズはどちらの大きさが必要だと思いますか。(45リットル又は40リットル)

(市民説明会)



(まちづくり出張教室)

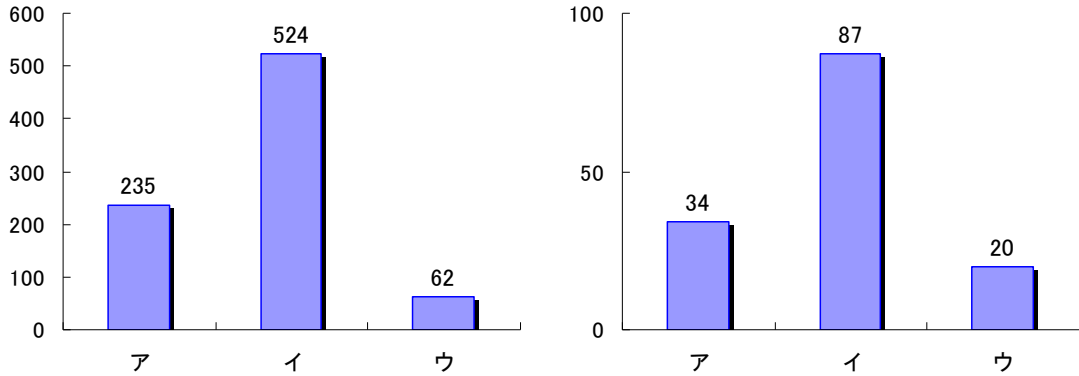


【凡例】 ①45リットル ②40リットル

設問2-1 45リットルが必要と思う理由(複数回答有)

(市民説明会)

(まちづくり出張教室)



【凡例】 ア. ごみ袋は大きければ大きいほどよい
 イ. 今の市販の袋が45リットルだから
 ウ. その他

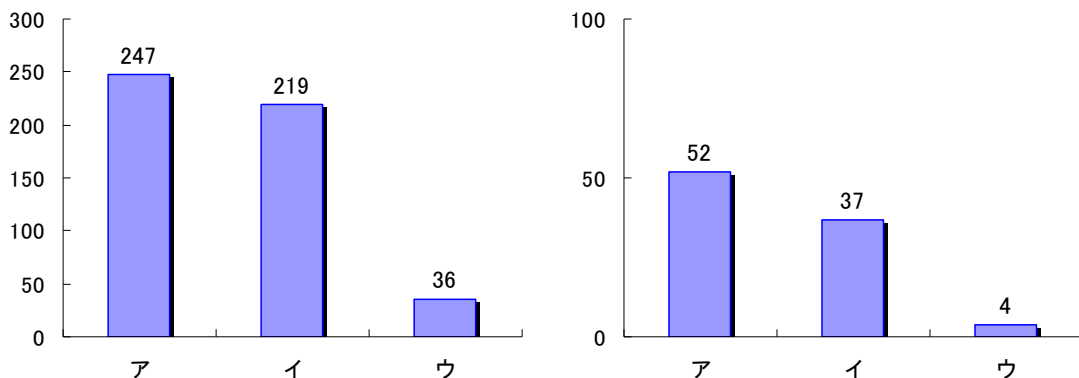
(⑤その他の主な意見)

どちらがあっても良いのでは、家のポリバケツと同じだから、慣れている、捨てる回数を減らすためには45リットルが良い、小さすぎると詰め込むので破れる、ごみを入れやすい

設問2-2 40リットルが必要と思う理由(複数回答有)

(市民説明会)

(まちづくり出張教室)



【凡例】 ア. ごみの減量化を図るのであれば小さめの袋の方がよい
 イ. 家計に係る負担を考えると小さくて安いほうがよい
 ウ. その他

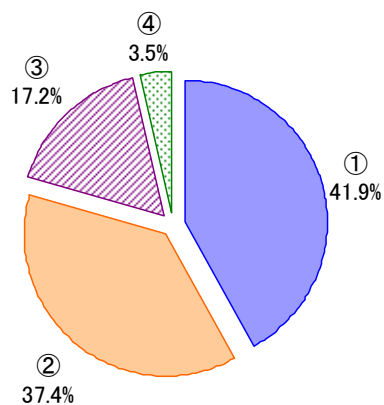
(⑤その他の主な意見)

ごみの量が少ないから、一杯に入れると重たいので小さめが良い、1~2人の家族が増えている最小限でよい、こまめにゴミを出したいから、あまり大きいと家庭に放置し不衛生になる

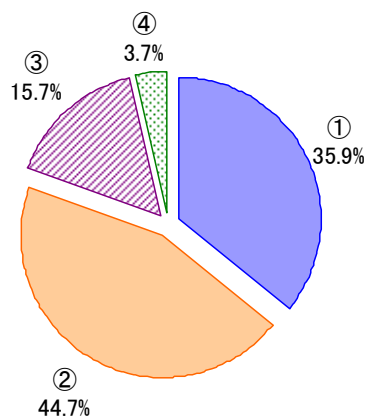
設問3 ごみ袋の金額と種類(手数料の額)について(複数回答有)

ごみ減量・リサイクルを推進するため、家庭ごみ有料化を実施した場合、一月に負担してもよいと思われる番号を○で囲んでください。

(市民説明会)



(まちづくり出張教室)



【凡例】 ①200円程度 ②300円程度 ③400円程度 ④500円程度

家庭ごみ有料化中間答申に関する市民説明会における主な意見

【大分類】意見（234件）

◆ 有料化制度に関すること（95件）

- ぜひ有料化してごみを減らす施策をしてほしい。缶などの抜き取りが多かった。公園の掃除をしている。ごみの出し方も悪い。有料化になって当然。
- 有料化については賛成したいと思うが、プラスチックの容器が多く嵩張るため、大袋については安くしてほしい。
- なぜ今有料化なのか。不況、消費税増税、電気代の値上げもありそうなこの時期に。中核市の実施率も低い。急にごみが増えたというのならわかるが、そういうわけでもない。
- 有料化により町が汚くなれば、みんなそれに慣れてしまう。そうやってほしくないので、有料化には反対します。
- 有料化実施後に指定袋が不足する事態は困る。

◆ その他（139件）

- 有料化をするべきかどうかの市民との対話をするべきではないか。
- 説明会の資料は事前に各世帯に配布すべきではないか。
- 有料化の是非を問う投票をして、それから検討してはどうか。
- 行政は言いたい事だけは言う。市民は何もいえない。おかしい。
- 有料化ありきで話が進んでいるこの説明会は意味がない。
- 説明会の結果を新聞に載せて欲しい。
- クリーン推進委員、自治会の不法投棄など責任が重大になってくる。

【大分類】要望（76件）

◆ 有料化制度に関すること（62件）

- 指定袋に氏名を記入できるように作ってほしい。
- 販売店は身近で購入できる所を考えてほしい。
- おむつについては、有料化から除外ということで検討してもらいたい。
- 猶予期間を十分確保してほしい。
- 実施になれば自治会単位で説明会を開催して欲しい。
- 町内会に入っていない方の周知徹底をしてほしい。

◆ その他（14件）

- ごみステーションにごみを出す事業者がいるので事業者は袋を変えてほしい。
- 中核市の状況を審議会へ報告してほしい。

【大分類】 その他（431件）

◆ 質問（358件）

- 市民税と同じであり、税の二重取りではないか。
- 別府市の黄色い袋のようなカラス対策は考えているか。
- ごみ袋はどんなところで販売するのか。
- 減免措置の対象者はどのような方になるのか。
- これはもう決定になるのか。また、いつ頃から実施する予定なのか。
- 高齢化が進み、こういった説明会にも出られない人がいるが、そういう人への説明はどうするのか。
- 有料化したときの収入はいくらになるのか。
- 有料化に伴う収入の用途は。
- ごみ全体を処理する費用はいくらか。
- 袋いっぱい詰めて袋の口をガムテープで止めて出してよいか。
- 実際に市の職員が率先して見回りをしてくれるのか。
- ごみ収集業務の直営と民間の割合は。
- 過剰包装への指導は行っているのか。
- 審議会はどのような構成となっているのか。
- これまで市民説明会は何箇所で開催してどのような質問が出たのか。

◆ 分別に関すること（31件）

- 分別が細分化されてややこしくて難しい。
- 分別方法が変わりすぎである。

◆ 野外焼却に関すること（11件）

- 可燃物は焼却していいのではないか。
- 野外焼却が多いので指導して欲しい。

◆ その他（31件）

- きれいなまちづくりと言いながら、帽子やのぼりなどごみになるものばかり作るのをおかしいのではないか。また、市報も月に1回くらいで良いと思う。必要な情報は別途回覧でまわってくるから。
- 公民館の建替補助を減額するのは困る。

【大分類】 市の取組みに関すること（158件）

- 全て民間委託にすべきである。もっと市は経費削減をすべきである。
- 市民へのごみ減量、分別の教育不足である。デンマークでは幼稚園の頃から教育現場で取り上げている。

- 有料化になれば、ごみを出す回数は減ってくると思うが、ごみ自体は減らないのではないか。ごみを減らす為のコンポストなどの普及をすれば数%の効果はあるのではないか。
- 市は減量する為の努力をしてきたのか。また、なぜごみが減らないのかの検証を第三者的にみた評価を行っているのか。市が努力した上での有料化なのか。
- 有料化は時代の流れかもしれない。でもその前にごみを減らす努力を。ごみを減らすというだけでは市民はわからない。自分の家でも実践できる、ごみ減量にかかる生活の知恵のような事例を本にするなどして、各自に減量の努力をさせる体制作りが必要。市がもっと市民に対する指導を強化すべき。
- 粗大ごみの収集日を設けてほしい。
- サービスはどのように変わるのか。ステーションについて要望したら削減の方向といわれた。高齢化社会で不燃物など重たいものを遠くのステーションまで持っていくのは大変。有料化とサービスが比例していないのではないか。
- ステーションの整備についても検討していただきたい。
- 住んでいるところによってステーションに一部のごみが出せないというのは不公平だ。ぜひよくすべきだ。
- 市民に努力を求めるだけでなく、事業者向けに過剰包装を減らす指導をしっかりとしてほしい。

【大分類】 金額に関すること (98 件)

- 1リットル1円は高いまだまだ下げてほしい。近隣市との均衡を保ってほしい。
- 1円以上の場合にごみが減るのであれば、ここまでごみが減った場合は金額を下げますといったことを付け加えてほしい。

【大分類】 不法投棄に関すること (72 件)

- 不法投棄については罰則を。不適正排出についても、よその人がステーションに捨てた場合の罰則もぜひ作ってほしい。
- 不法投棄が増加することは、きれいなまちづくりに逆行するのでは。

【大分類】 ルール違反ごみに関すること (47 件)

- 現在、ルール違反ごみを自分たちで分別している。増えることが心配である。
- 生ごみでルール違反となれば次回の収集になるので、一年間ステーションの中にはルール違反がある。臭気が大変だ。ステーションの移動とか考えないといけない。

【大分類】 ボランティアごみに関すること (25 件)

- ボランティアごみの区別はできるのか。個人的に拾ったごみは、どうするのかを検討してほしい。
- 善意でボランティアをする人が少なくなるのではないか。